

りんご



主な加害種:カラス、ヒヨドリ、サル、ハクビシン、アライ グマ

りんごを加害するのは鳥類では主にカラス類であるが、ヒヨドリやオナガなども加害する。ハシブトガラスの場合は大きなくちばしの跡が特徴だが、判別が難しい場合もあるので注意。獣類では、サルをはじめ、ハクビシン、アライグマ、タヌキ、アナグマなどの中型獣が加害する。イノシシ、クマが枝を折る被害、シカが樹皮を食べる被害もある。



加害種:ハシブトガラス

飼育個体での摂食実験時の写真。ハシブトガラスの大きなくちばしでついばんだ痕がわかる。一ローロが大きいことが多い。

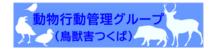
撮影:吉田



加害種:ハシボソガラス

飼育個体での摂食実験時の写真。ハシボ ソガラスの細いくちばしで何度も細かくつい ばんだ痕がわかる。

撮影:吉田



鳥獸害痕跡図鑑



加害種:ハシブトガラス

飼育個体での摂食実験時の写真。ハシブトガラスでもこのようなハシボソガラスに似た食痕をつける個体がいるので、明瞭な太い V 字型が見られない場合は加害鳥種の判別は難しい。

撮影:吉田



加害種:不明(中型獸?)

りんご園の地面にかじり跡のある果実が落ちていた。この圃場ではツキノワグマ、アナグマ、キツネ、タヌキなどのりんごを食害する複数の動物がカメラ調査で確認されている。写真のりんごは、右側の果皮の形状を見ると、比較的小さな門歯で齧り取られた形跡があり、中型獣による食痕の可能性がある。

撮影:石川

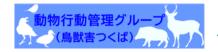


加害種:不明(ツキノワグマ?)

りんご園の地面にかじり跡のある果実が落ちていた。この圃場ではツキノワグマ、アナグマ、キツネ、タヌキなどのりんごを食害する複数の動物がカメラ調査で確認されている。この食痕は比較的大きめの歯の痕がみられ、ツキノワグマの可能性もあるが、食痕からの加害獣の特定は困難。

撮影:石川





鳥獣害痕跡図鑑





加害種:アナグマ

りんご園の外周に設置されたワイヤーメッシュ柵の地際が 20cm くらい掘られている。穴掘り能力の高いアナグマが土を掘り、キツネやタヌキなどの多様な中型獣もくぐり抜けて園内へ侵入する経路として利用する。

撮影:石川

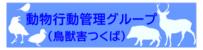


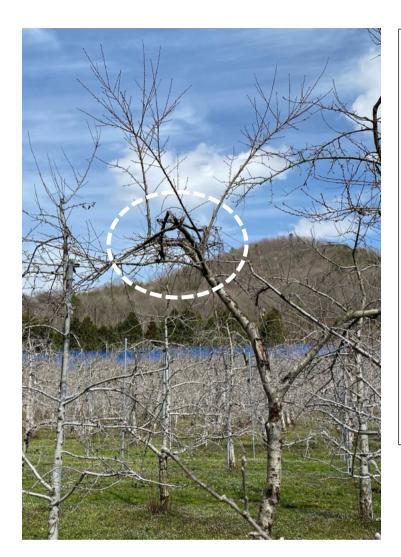
<参考>ツキノワグマ

りんご園の地面に糞が落ちていた。ツキノワグマの糞は食べたものがあまり消化されていないように見える状態で排出され、特定の食べ物に集中した構成になりやすい傾向がある。この糞はほぼ 100%がりんごで、すりおろしりんごのような状態になっている。

撮影:石川







加害種:ツキノワグマ

りんご園に「クマ棚」のある樹があった。ツ キノワグマは木に登って採食する際、枝 先までは登れないため、果実のついた枝 を枝ごとたぐり寄せて、枝先の果実を食べ る習性がある。その際に折れた枝が樹上 に残って積み重なり、鳥の巣のようになっ たものが「クマ棚」と呼ばれる。この樹は 樹高約4mで、地上から約2mの高さの 位置に「クマ棚」ができていた。枝ごと折ら れると被害が大きい。なお、これはりんご 園の圃場すみに植樹されていた早生のモ モまたはスモモの樹で、周囲のりんごより も前に結実したため、この樹が集中して被 害を受けた。

撮影:石川